

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2ndQ & 4thQ	1 年	2 単位	必修
担当教員			
藤原 由衣子			

講義概要	この授業では、本学が訪問する可能性がある諸外国を中心として国の概要をはじめ、さまざまなテーマに基づいて見聞を深める。それと同時に私たちが住む日本の文化を客観的に捉え、日本文化の特徴を捉える。		
授業計画	1	オリエンテーション	
	2	衣食住について 1 諸外国の衣食住について学ぶ。	
	3	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 衣食住について 2 諸外国の衣食住について学ぶ。	
	4	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 衣食住について 3 諸外国の衣食住について学ぶ。	
	5	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 言語について 1 諸外国の言語について学ぶ。	
	6	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 言語について 2 諸外国の言語について学ぶ。	
	7	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 伝統について 1 諸外国の伝統について学ぶ。	
	8	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 伝統について 2 諸外国の伝統について学ぶ。	
	9	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 言語について 2 諸外国の言語について学ぶ。	
	10	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 外部講師 海外生活を送ったことのある外部講師を招き、現地の文化を学ぶ。	
	11	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 教育について 1 諸外国の教育について学ぶ。	
	12	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 教育について 2 諸外国の教育について学ぶ。	
	13	予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 産業について 1 諸外国の産業について学ぶ。	
		予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。	

	14 産業について2 諸外国の産業について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。 15 産業について3 諸外国の産業について学ぶ。 予習：興味のある国の次回テーマについて、書籍等で知識を得ておく。 復習：授業で学んだ語彙や文化についての知識を身につける。
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	到達目標 ①本学が訪問する可能性がある諸外国の基本情報を知り、説明ができる。 ②諸外国の文化の特徴を把握できる。 ③日本文化の特徴を見出すことができる。 ④授業で得た知識を机上の知識ではなく、自分の経験と照らし合わせて考えることができる。 ⑤新聞等における世界のニュースを知り、実生活と結びつけて考えることができる。 評価方法 学習意欲（50%） 試験（50%）
	○関心・意欲・態度（訪問する可能性がある国を中心とした諸外国について、積極的に調べ、知ろうという意欲が見られる。）：授業プリント20% ○思考・判断（諸外国と日本とを比較し、諸外国、日本、それぞれの文化について考えることができる。）：授業プリント20% ○技能・表現（諸外国と日本とを比較し、諸外国、日本、それぞれの文化について自分なりに整理することができる。）：授業プリント10% ○知識・理解（諸外国についての基本情報を把握することができる。）：小テスト50%
教科書・参考書	教科書はない。適宜プリントを配布する。 参考書は授業を通して紹介する。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業がないときはいつでも研究室にどうぞ。
備考・メッセージ	「知りたい」と思う気持ちを持つ人、大歓迎です。 積極的に調べ、積極的に人の話を聞き、積極的に発言をすることを期待します。

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1stQ & 2ndQ	1 年	2 単位	必修
担当教員			
章 潔 ・ 李 載宇			

講義概要	本授業は日本の衣生活、食生活、住生活、つきあいの四つに分かれ、日本文化を解説するものである。日本における日常生活での衣食住にまつわるしきたりや人とのつきあい、とくに「個人より組織優先」、「ウチとソト」、「上下関係」などの行動様式については、留学生には奇異なもの、不可解なもの映るようである。本授業では、なぜそうするのか、なぜそうなったのかなど、それぞれの時代背景を説明することによって、少しでも日本の文化への誤解をなくし、外国から来た留学生が日本の社会で気持ち良く暮らせるようにしたい。		
授業計画	1	衣生活① 学習課題 復習：日本文化に対する不可解な点を自分なりにまとめておく。 予習：日本の衣生活	
		① 紋付き羽織袴 ② 留袖 ③ 振袖	
	2	衣生活② 学習課題 復習：衣生活①の内容 予習：日本の衣生活	
		① はっぴ ② はんてん ③ ゆかた	
	3	衣生活③ 学習課題 復習：衣生活② 予習：日本の衣生活	
		① 背広 ② 学生服	
	4	食生活① 学習課題 復習：衣生活③ 予習：日本の食生活	
		① 和食の特徴 ② 米 ③ 旬 ④ 和食器 ⑤ 盛り付け	
	5	食生活② 学習課題 復習：食生活① 予習：日本の食生活	
		① 本膳料理 ② 懐石料理 ③ 会席料理	
	6	食生活③ 学習課題 復習：食生活② 予習：日本の食生活	
		① 食事のマナー ② 箸の使い方	
	7	食生活④ 学習課題 復習：食生活③ 予習：日本の食生活	
		① おせち料理 ② そば すし てんぷら ③ すきやき カレーライス ラーメン	
	8	住生活① 学習課題 復習：食生活④ 予習：日本の住生活	
		① 玄関 ② 和室 ③ 押入れ	
	9	住生活② 学習課題 復習：住生活① 予習：日本の住生活	
		① 台所 ② 風呂	

	③ 手洗い 住生活③ 学習課題 復習：住生活② 予習：日本の住生活 ① 礼金・敷金・仲介料 ② 賃貸契約 ③ 入居時注意事項 ④ 退居時注意事項 ⑤ 連帯保証人 1 1 つきあい① 学習課題 復習：住生活③ 予習：日本のつきあい ① 「ウチ」と「ソト」 ② 敬語 ③ 先輩 後輩 1 2 つきあい② 学習課題 復習：つきあい① 予習：日本のつきあい ① もてなし ② 贈り物 ③ お返し 1 3 つきあい③ 学習課題 復習：つきあい② 予習：日本のつきあい ① 手紙 ② はがき・年賀状 ③ 名刺交換 1 4 つきあい④ 学習課題 復習：つきあい③ 予習：日本のつきあい ① 結婚式・披露宴に出席 ② 通夜・葬式に参列 ③ 冠婚葬祭 1 5 総括 学習課題 復習：つきあい④ 予習：発表の練習 ① 課題として発表原稿を仕上げる ② 発表する
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	① 積極的な交流により、他人を理解し、他国の文化を理解することができる。 ② 日本の文化事情と自国の文化事情と比較できる。 ③ 日本文化事情に関する用語や事象を理解できる。 ④ 留学生同士および日本人学生と積極的に交流を図ることができる。 ⑤ 再認識した日本文化の特性を見直し、異文化間交流の際に助力にできるようにする。 授業中の学習態度・意欲、定期試験の結果によって総合的に評価する。 授業態度・授業への参加30%、宿題・授業外レポート30%、定期試験40%
教科書・参考書	教科書：『しきたり』、国際日本語研究所編、アプリコット出版社。
履修条件	平成28年度以降の入学者（留学生）
履修上の注意	本授業は「日本文化を知る」ということを目標とし、多種多様な文化事情について、継続的に聞き、理解する努力を重ねることによって、多文化理解力を身につけるものである。
オフィスアワー	授業以外の時間（9時から17時までの間）ならいつでも気軽に訪ねてください。
備考・メッセージ	学生には日本文化事情に興味を持ち、積極的に授業に参加し、課題に取り組むことを期待する。